（ＫＵ－１ＣＮ型）

水道法性能基準適合品
（耐圧性能･浸出性能）
（25A～125A）

ＫＵ－１型

ストレーナ

取扱説明書

ＫＵ－１型

ＫＵ－１ＣＮ型

流れ･ビューティフル
株式会社 ベン

ＰＬ－ＨＥ－００３Ｇ

はじめに

この取扱説明書は、ＫＵ－１型，ＫＵ－１ＣＮ型ストレーナの取扱方法について記述しています。本製品をご使用の前に熟読の上、正しくお使いください。

この取扱説明書は本製品を設置、および使用される方々のお手元に確実に届くようお取りはからい願います。

製品の危険性についての本文中の用語

⚠ **警告**　：取扱を誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

⚠ **注意**　：取扱を誤った場合、使用者が軽い、若しくは中程度の傷害を負う危険が想定される場合、または物的損害・損壊の発生が想定される場合。

ご使用にあたっての警告・注意事項

本製品のご使用にあたり、人身の安全および製品を正しく使用するために必ずお守りください。

⚠ 警告

●本製品は、重量物ですので、配管取付けなどの際には製品本体を確実に支えるなど注意を払ってください。
　※製品を落しますと、怪我をする恐れがあります。

●本製品を配管取付け後、流体を流す前に、配管末端まで流体が流れても危険のないことを確認してください。
　※流体が吹出した場合、怪我をしたり、高温流体の場合、やけどをする恐れがあります。

●製品にはむやみに触れないようにしてください。
　※高温流体の場合、やけどの恐れがあります。

●ネットの清掃にあたっては、一次側の供給弁を止め、製品内の流体を徐々に排出して、圧力が零になっていることを確認すると共に、高温流体の場合は、本体を素手でさわれるまで冷してから行ってください。
　※流体の吹出しにより、周囲を汚したり、怪我や高温流体の場合はやけどをする恐れがあります。

⚠ 注意

●本製品の分解にあたっては、熟練した専門の方（設備・工事業者の方など）が実施してください。
一般のご使用者は分解しないでください。ネットの目詰まりや異常がある場合は、設備・工事業者または、当社に処置を依頼してください。

●本製品を使用する前に、使用条件と１頁の仕様とを確認してください。使用条件が仕様を満足することを確認の上、製品をご使用ください。

●本製品の機能・性能の確認のため、日常点検、定期点検を実施してください。

目次　　頁

１．製品用途、仕様、構造 …… １
（１）用途 …… １
（２）仕様 …… １
（３）構造 …… ２
２．設置要領 …… ３
（１）製品質量 …… ３
（２）要領 …… ３
３．保守要領 …… ４
（１）日常点検 …… ４
（２）定期点検 …… ４
○分解・組立要領 …… ５
（１）分解 …… ５
１）分解工具および消耗部品 …… ５
２）分解 …… ６
３）清掃 …… ６
（２）組立 …… ８
○サービスネットワーク

１．製品用途、仕様、構造

（１）用途

ＫＵ－１型，ＫＵ－１ＣＮ型ストレーナは主として水・液体用に用いられるＵ形ストレーナで、配管内に混入した塵埃、砂、スケールなどの異物をネットで除去し、配管系の機器などを保護する目的に使用されます。

⚠ **注意**

給水装置に使用する場合は、水道法性能基準適合品のＫＵ－１ＣＮ型（呼び径25A～125A）を使用してください。

（２）仕様

型　式	ＫＵ－１	ＫＵ－１ＣＮ
製品記号	KU1-G2(標準60ﾒｯｼｭ) KU1-G 注1	KU1CN-G2(標準60ﾒｯｼｭ) KU1CN-G 注1
種　類	汎用品	ナイロンコーティング
呼び径	２５～２５０	２５～１２５注2
適用流体	水、油、空気注3	水、温水
	※給水装置には、ＫＵ－１ＣＮ型（呼び径25A～125A）を使用してください。	
適用圧力	１．０ＭＰａ以下	
流体温度	９０℃以下 注3	６０℃以下
端接続	ＪＩＳ １０Ｋ ＲＦフランジ注4	
材　質	本体・カバー（ＦＣ）、ネット（ＳＵＳ）、ウエアミオサエ（ＣＡＣ）	
ネット （網目）	６０メッシュ：標準注1	
耐圧試験	水圧にて１．７５ＭＰａ	
塗装または ｺｰﾃｨﾝｸﾞ塗膜	内面：防錆油	本体・カバー： 内外面共ナイロン１１コーティング ０．３mm以上（白色）

注１：４０，８０，１００メッシュのものもあります。

注２：呼び径１５０、２５０も製作しています（水道法性能基準には適合しません）。

注３：適用流体は蒸気用（流体温度１８４℃以下用）も製作しています。

注４：端接続は、水道用仕切弁規格品もあります。

⚠ **注意**

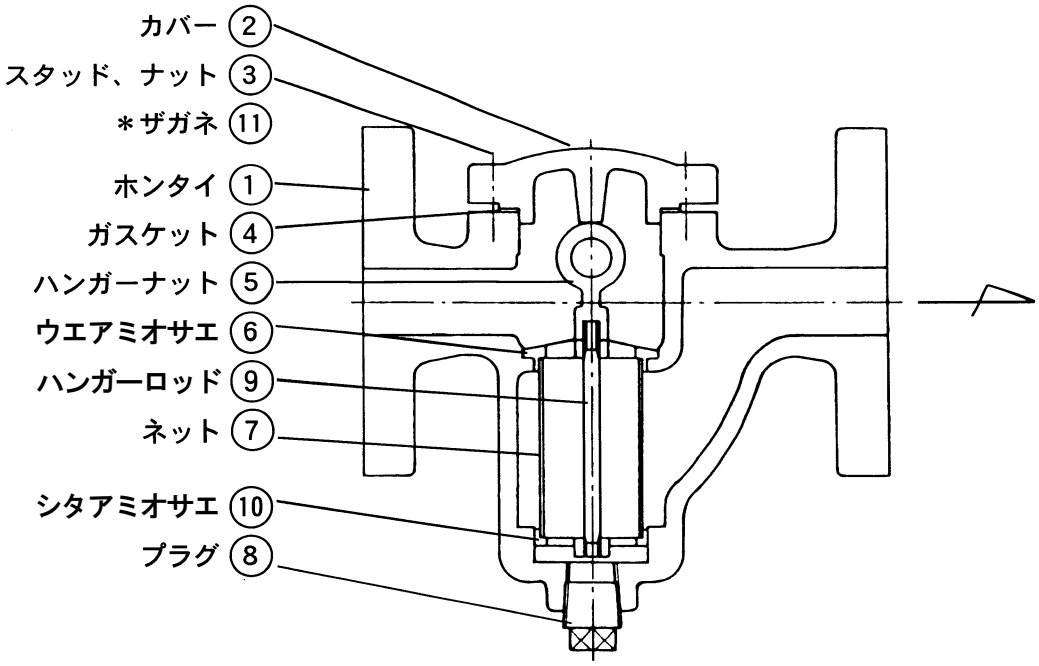
●上記仕様が使用条件を満足することを確認してください。

●上記の仕様を超えての使用はできません。

（３） 構造

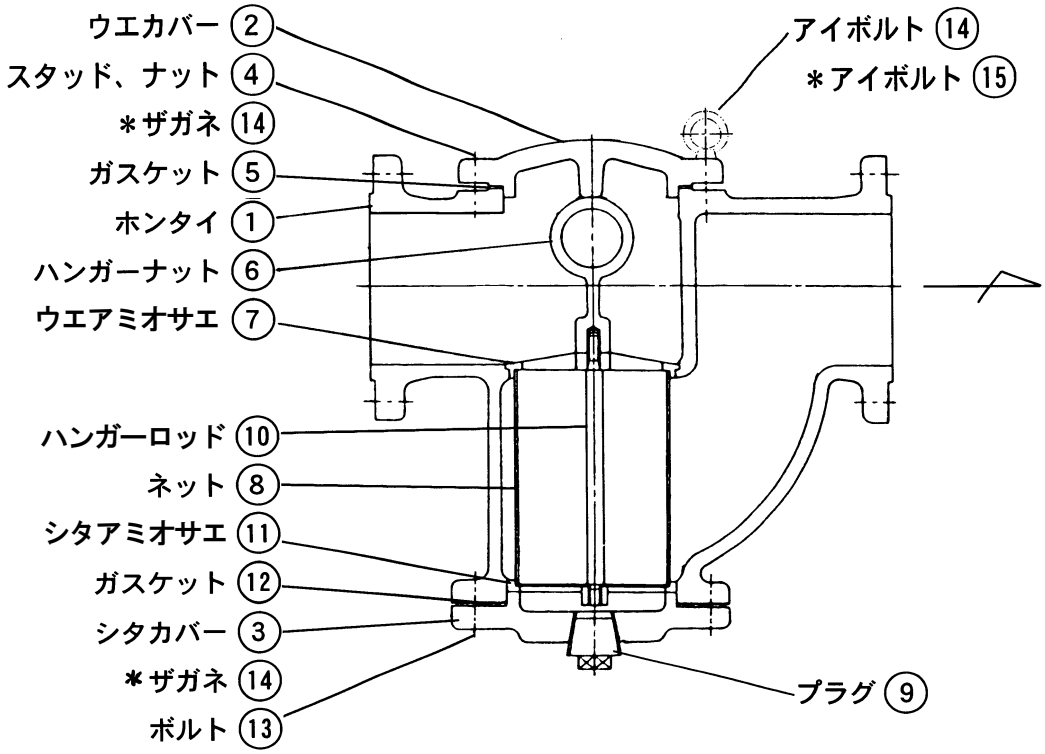
※注）部品名・部品番号は、納入品図面と異なる場合があります。部品交換等の手配の際には、部品名・部品番号は、納入品図面をも

呼び径　２５～８０Ａ



＊印のザガネ ⑪ はＫＵ－１ＣＮ型の場合に使用しています。

呼び径　１００～２５０Ａ



＊印のザガネ ⑭ はＫＵ－１ＣＮ型の場合に使用しています。

２．設置要領

⚠ **警告**

本製品は、重量物ですので、配管取付などの際には製品本体を確実に支えるなど注意を払ってください。
尚、呼び径１００～２５０は製品吊り上げ用のアイボルト付（２箇所）となっています。配管取付などの際には、必ず２箇所のアイボルトを利用し、製品を落とさないよう注意してください。
※製品を落しますと、怪我をする恐れがあります。

（１）製品質量

（ｋｇ）

呼び径	２５Ａ	３２Ａ	４０Ａ	５０Ａ	６５Ａ	８０Ａ
質　量	６．５	９．５	１０	１２	２０	２４
呼び径	１００Ａ	１２５Ａ	１５０Ａ	２００Ａ	２５０Ａ	
質　量	５０	７５	９７	２９２	５４０	

（２）要領

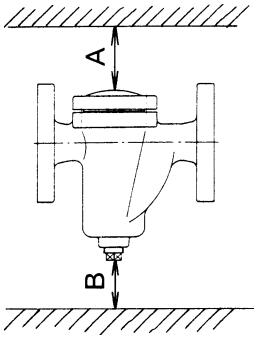
⚠ **注意**

●輸送中などに製品への異物混入を避けるため、入口・出口にキャップ、あるいはシール蓋をしてあるものについては、それらを外してから取付けてください。
●製品を配管に接続する際には、製品の流れ方向を示す矢印と流体の流れ方向を合わせ、水平配管に垂直に取付けてください。
※誤った取付けをした場合、製品の機能を発揮できません。
●製品には、配管の荷重や無理な力・曲げ、および振動がかからないよう配管の固定や支持をしてください。
※配管の固定や支持をしない場合、製品の損傷の原因となります。
●凍結の恐れのある場合は、水抜きや保温などをしてください。
※凍結による破損の恐れがあります。
ＫＵ－１ＣＮ型で外気との温度差が４０℃以上ある場合には必ずストレーナを保温してください。

１）分解点検のため、ストレーナの上下の空間は、下表の寸法以上確保してください。

（mm）

呼び径	25～40	50～65	80～100	125～150	200	250
A	150	200	300	500	700	900
B	100					



Ａ：ネット取出しスペース

注）ウエカバーを吊り上げるスペースも考慮してください。

２）凍結が予想される場合、またはＫＵ－１ＣＮ型で外気との温度差が４０℃以上ある場合には必ずストレーナを保温してください。

３．保守要領

⚠ **警告**

ネットの清掃にあたっては、一次側の供給弁を止め、製品内の流体を徐々に排出して、圧力が零になっていることを確認すると共に、高温流体の場合は、本体を素手でさわれるまで冷してから行ってください。

※流体の吹出しにより、周囲を汚したり、怪我や高温流体の場合はやけどをする恐れがあります。

⚠ **注意**

●本製品の機能・性能の確認のため、日常点検、定期点検を実施してください。

●本製品の分解にあたっては、熟練した専門の方（設備・工事業者の方など）が実施してください。
一般のご使用者は分解しないでください。ネットの目詰まりや異常がある場合は、設備・工事業者または、当社に処置を依頼してください。

●ネットが目詰まりすると、流量不足や圧力降下などの不具合が発生しますので、入口と出口の圧力差が０．１ＭＰａ位になったらネットの清掃が必要です。

（１）日常点検

点　検　項　目	処　　置
流量の出具合 （二次側圧力の降下）	目安として差圧（圧損）が０．１ＭＰａ以下であること。　「分解・組立要領」参照
カバー締付け部からの外部漏れの有無。	ボルト・ナットの増締め、またはガスケットの交換。「分解・組立要領」参照

（２）定期点検

本製品の機能・性能を維持するため、定期的に分解点検を実施してください。

点　検　周　期	１回／年
主　な　点　検　項　目	①ネットの目詰まり。
	②カバー締付け部からの外部漏れの有無。

分解・組立要領

（１） 分解

警告

●本製品の分解にあたっては、一次側の供給弁を止め、製品内の流体を徐々に排出して、圧力が零になっていることを確認すると共に、高温流体の場合は、本体を素手でさわれるまで冷してから行ってください。
※流体の吹出しにより、周囲を汚したり、怪我や高温流体の場合はやけどをする恐れがあります。

●ウエカバーを分解・組立する際は、呼び径が大きいものは重量物ですので、注意してください。呼び径１００～２５０は吊り上げ用のアイボルト付（２箇所）となっていますので、必ず２箇所のアイボルトを利用し落下しないよう注意してください。
※ウエカバーを落しますと、怪我をする恐れがあります。

注意

本製品の分解にあたっては、熟練した専門の方（設備・工事業者の方など）が実施してください。
一般のご使用者は分解しないでください。

１） 分解工具および消耗部品

分解前に必要な工具、消耗部品などあらかじめ用意します。

工具名称	呼び	ストレーナ呼び径	工具使用箇所
スパナ	１９	２５～５０	スタッド、ナット ③
		８０	スタッド、ナット ③
		１００	スタッド、ナット ④ 、ボルト ⑬
	２４	６５	スタッド、ナット ③
		１２５～２００	スタッド、ナット ③ 、ボルト ⑬
	３０	２５０	スタッド、ナット ③ 、ボルト ⑬
用　具	ウエス（柔らかい布など）、ワイヤーブラシ		

消耗部品

呼び径	消耗部品	要求先
２５～８０	ガスケット ④	㈱ベン
１００～２５０	ガスケット ⑤	
	ガスケット ⑫	

２） 分解

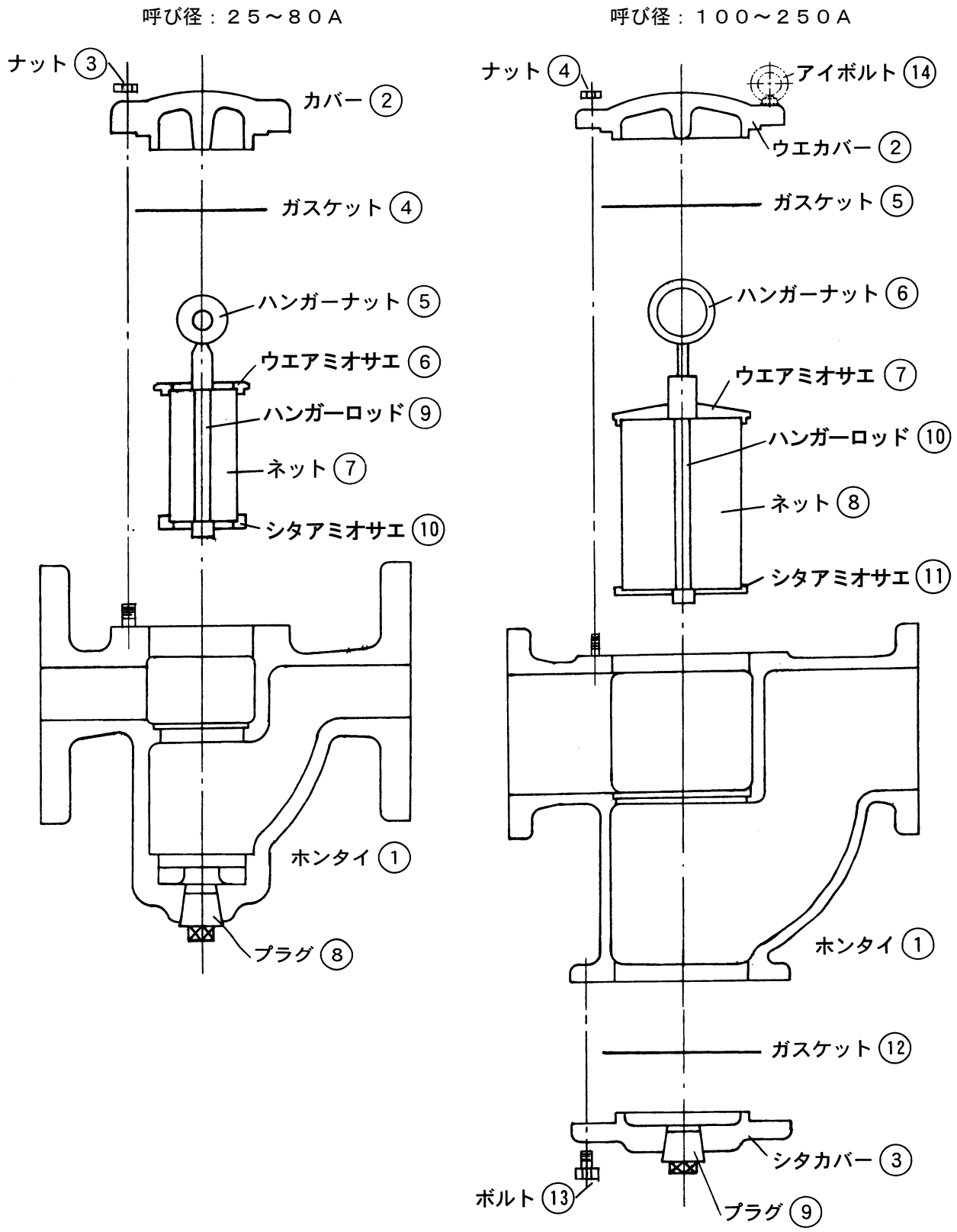
（７頁　分解図　参照）

手順	分　解　要　領	
	呼び径　２５～８０	呼び径　１００～２５０
1	ナット ③ を緩めてカバー ② 、ガスケット ④ 、（ザガネ ⑪ ）を取外します。 注記：ザガネ ⑪ はＫＵ－１ＣＮ型の場合に使用しています。	ナット ④ を緩めてウエカバー ② 、ガスケット ⑤ 、(ザガネ ⑭)を取外します。 注記：ザガネ ⑭ はＫＵ－１ＣＮ型の場合に使用しています。
2	ホンタイ ① 内側からハンガーナット ⑤ を上方に垂直に引張り、ネット廻り（ハンガーナット ⑤ 、ウエアミオサエ ⑥ 、ネット ⑦ 、ハンガーロッド ⑨ 、シタアミオサエ ⑩ 組込品）を取外します。	ホンタイ ① 内側からハンガーナット ⑥ を上方に垂直に引張り、ネット廻り（ハンガーナット ⑥ 、ウエアミオサエ ⑦ 、ネット ⑧ 、ハンガーロッド ⑩ 、シタアミオサエ ⑪ 組込品）を取外します。
3	プラグ ⑧ は、通常、分解清掃の時は取外す必要はありません。	シタカバー廻りは通常、分解清掃の時は取外す必要はありません。 ※シタカバー ③ 、ガスケット ⑫ はボルト ⑬ を緩めて取外すことができます。

３） 清掃

手順	要　領	
	呼び径　２５～８０	呼び径　１００～２５０
1	各部品をウエスで清掃します。	
2	ガスケット ④ は新品と交換します。	ガスケット ⑤ は新品と交換します。
3	ネット廻り（ハンガーナット ⑤ 、ウエアミオサエ ⑥ 、ネット ⑦ 、ハンガーロッド ⑨ 、シタアミオサエ ⑩ ）が変形している場合は、新品と交換します。	ネット廻り（ハンガーナット ⑥ 、ウエアミオサエ ⑦ 、ネット ⑧ 、ハンガーロッド ⑩ 、シタアミオサエ ⑪ ）が変形している場合は、新品と交換します。
4	ネット ⑦ に付着している塵埃、砂、スケールなどをワイヤーブラシなどで落とし、洗浄します。	ネット ⑧ に付着している塵埃、砂、スケールなどをワイヤーブラシなどで落とし、洗浄します。

分解図



※注）部品名・部品番号は、納入品図面と異なる場合があります。部品交換等の手配の際には、部品名・部品番号は、納入品図面をもとに指示してください。

（２） 組立

注意

組立にあたっては、部品などは確実に組付け、ボルトは片締めとならないように対角上に均一に締付けてください。

組立は、分解と逆の手順で行います。

（７頁　分解図　参照）

手順	要　　領	
	呼び径　２５～８０	呼び径　１００～２５０
1	損傷の激しい部品は、新品と交換します。	
2	ハンガーナット ⑤ とハンガーロッド ⑨ および、ハンガーロッド ⑨ とシタアミオサエ ⑩ に緩みがないことを確認し、ホンタイ ① の内部に組込みます。 この時、ウエアミオサエ ⑥ とシタアミオサエ ⑩ はホンタイ ① のそれぞれのガイド部に確実にはめ込んでください。	ハンガーナット ⑥ とハンガーロッド ⑩ および、ハンガーロッド ⑩ とシタアミオサエ ⑪ に緩みがないことを確認し、ホンタイ ① の内部に組込みます。 この時、ウエアミオサエ ⑦ とシタアミオサエ ⑪ はホンタイ ① のそれぞれのガイド部に確実にはめ込んでください。
3	ガスケット ④ 、カバー ② をホンタイ ① に組付け、ナット ③ （ザガネ ⑪ ）にて締付けます。 注記：ザガネ ⑪ はＫＵ－１ＣＮ型の場合に使用しています。	ガスケット ⑤ 、ウエカバー ② をホンタイ ① に組付け、ナット ④ （ザガネ ⑭ ）にて締付けます。 注記：ザガネ ⑭ はＫＵ－１ＣＮ型の場合に使用しています。 ※シタカバー ③ を分解した場合は、ガスケット ⑫ をホンタイ ① に装着し、シタカバー ③ を組付け、ボルト ⑬ で締付けます。

以上で組立は終了です。

製品及び本取扱説明書に関するお問合せは下記へお願いします。

サービスネットワーク

<table>
<tr><th>担当部署</th><th colspan="2">サービス区域</th></tr>
<tr><td>☆東京営業所</td><td rowspan="2">東京、神奈川</td><td rowspan="5">品質保証課</td></tr>
<tr><td>横浜出張所</td></tr>
<tr><td>☆西関東営業所</td><td>神奈川、東京、山梨</td></tr>
<tr><td>☆東関東営業所</td><td>千葉、茨城</td></tr>
<tr><td>☆北関東営業所</td><td>埼玉、栃木</td></tr>
<tr><td>☆関越営業所</td><td colspan="2" rowspan="2">群馬、長野、新潟</td></tr>
<tr><td>新潟出張所</td></tr>
<tr><td>☆仙台営業所</td><td colspan="2" rowspan="2">宮城、山形、福島</td></tr>
<tr><td>いわき出張所</td></tr>
<tr><td>☆盛岡営業所</td><td colspan="2">岩手、青森、秋田</td></tr>
<tr><td>☆札幌営業所</td><td colspan="2">北海道</td></tr>
<tr><td>☆大阪営業所</td><td colspan="2" rowspan="2">大阪、京都、奈良、和歌山、兵庫、岡山、鳥取、滋賀、三重、四国全域</td></tr>
<tr><td>岡山出張所</td></tr>
<tr><td>☆名古屋営業所</td><td colspan="2" rowspan="2">愛知、岐阜、三重、静岡</td></tr>
<tr><td>静岡出張所</td></tr>
<tr><td>☆金沢営業所</td><td colspan="2">石川、富山、福井</td></tr>
<tr><td>☆広島営業所</td><td colspan="2">広島、島根、山口</td></tr>
<tr><td>☆福岡営業所</td><td colspan="2">九州全域、沖縄</td></tr>
</table>

本　社　〒146-0095　東京都大田区多摩川 2-2-13

営業本部　TEL03(3759)1470

技術部　TEL03(3759)0170　FAX03(3759)1414

品質保証課　TEL045(933)1860

〇東日本営業部

☆東京営業所　TEL03(3759)0171
横浜出張所　TEL03(3759)0171
☆西関東営業所　TEL042(772)8531
☆東関東営業所　TEL043(242)0171
☆北関東営業所　TEL048(663)8141
☆関越営業所　TEL027(252)4248
新潟出張所　TEL025(280)0978
☆仙台営業所　TEL022(287)6211
いわき出張所　TEL0246(36)7558
☆盛岡営業所　TEL019(697)7651
☆札幌営業所　TEL011(875)8007

〇西日本営業部

☆大阪営業所　TEL06(6325)1501
岡山出張所　TEL086(902)3060
☆名古屋営業所　TEL052(411)5840
静岡出張所　TEL054(275)2705
☆金沢営業所　TEL076(261)6989
☆広島営業所　TEL082(230)4511
☆福岡営業所　TEL092(291)2929

〇工場・技術センター

岩手工場　TEL019(697)2425
相模原工場　TEL042(772)7341
いわき技術センター　TEL0246(36)7557

H28.3